

RRC-TREC 2025 競技会関連規程集

1 : TREC 競技について

TREC(トレック)を始めよう！

T R E C は現在ヨーロッパを中心に世界中で急成長中の新しい野外馬術競技です。

この競技名はフランス語の

Technique de Randonnée Equestre de Compétition(T.R.E.C) 「野外馬術の技術審査競技」です。

もともとはフランスで馬を使ったトレールガイドの資格試験として行われていたものが競技として発展したものです。ヨーロッパ各国で盛んに行われるようになってきましたが、特に英国では権威ある British Horse Society(BHS 英国馬事協会) が総括団体として普及に力を入れており急成長の種目で毎週末どこかで大会が開かれています。1997 年からは世界選手権も行われています。

TREC は、野外騎乗における人馬の適正を広範囲に亘ってテストするポイント制審査競技でタイムを競うレースではありません。

またブリティッシュ・ウエスタンといったスタイルを問わず、初心者からベテランまでの幅広い層が安全に楽しめる競技であり、教育効果も高いことが知られております。

しかし国際ルールでは競技の中心となるフェーズ（部門）が公道を使ったオリエンテーリングであることや、日本とヨーロッパとの馬文化の成熟度の違いにより、そのままの形では日本に導入しにくいものがありました。しかし日本の馬文化の現状にあわせた独自のルールに基づく TREC-Japan 競技を制定し日本でも TREC を安全に身近に楽しめるようになりました。

2：TREC 競技の魅力

1 自然を楽しめる。

自然の中で馬術を習得できます。障害飛越、馬場馬術、クロスカントリー、ウエスタン競技の基礎を馬場内やクロスカントリーコースを用いて習得できます。エンデュランス競技の基礎訓練や新馬調教としても最適です。

2 安全で楽しい

TREC は基本的にポイントによる採点競技であり、スピードレースではありません。ぎりぎりまで自分を追いこんでチャレンジすることもできますし、また無理をせず気楽に楽しむこともできます。

3 フレキシブル

この競技は人馬の広範な技能を必要とします。その点では決して易しいものではありませんが非常にフレキシブルなものでもあります。本格的国際競技は2日間に亘って行われますが、競技レベルに合わせて短時間で行うことも出来、すべてのフェーズを行わなくてもかまいません。

4 参加しやすい

参加する馬の種類は問いません(但し RRC-TREC においてはサラブレッド限定)。エンデュランスもルールでは「馬は種類を問わない」と定めてありますが、1日160kmを走る本格的競技では持久力にすぐれたアラブ種以外の馬はあまり見かけません。

TREC 競技の会場ではあらゆる種類の馬を見かけます。特別すぐれた血統の競技馬である必要はなくポニーや農耕馬も出場しています。安全な馬具・馬装であれば特段の指定はありません。

5 教育的効果が高い

自然環境に優しいものであり、ライダーたちは同好の士と親睦を深めながら、自己実現を図ることができます。教育的な側面も単なるホーストレッキングより大きなものがあり、特に馬のウエルフェア全般に関わる知識、地形やコースを読む能力、上級クラスにおいてはカントリーサイドの自然を慈しむ心が養われます。

3：TREC 競技の内容およびカテゴリー

第1 フェーズ ベーシックホースマンシップ BH(Basic Horsemanship)

第2 フェーズ 歩様コントロール CG(Control de Gate)

第3 フェーズ 野外基礎課目 PTV(Parcours en Terrain Varie)

第4 フェーズ オリエンテーリング POR(Parcours d`orientation et de Regularite)

※RRC-TREC2025 では第1 フェーズから第3 フェーズのみ行う(以下参照)

G1 概要

競技は以下の4つのフェーズからなり、その合計ポイントを競う。

- 第1フェーズ ベーシックホースマンシップ BH (Basic Horsemanship)
- 第2フェーズ 歩様コントロール CG (Control de Gate)
- 第3フェーズ ベーシクトレイルテクニク PTV (Parcours en Terrain Varie)
- 第4フェーズ オリエンテーリング POR (Parcours d'Orientation et de Regularite)

① ミニ TREC クラス (RRC-TREC)

第1～第3フェーズのみを行い、第4フェーズのオリエンテーリングは行ないません。

- 第1フェーズ ベーシックホースマンシップ BH 20ポイント
- 第2フェーズ 歩様コントロール CG 60ポイント
- 第3フェーズ ベーシクトレイルテクニク PTV 80ポイント

② ノービスクラス

第1～第3フェーズのみを行い、第4フェーズのオリエンテーリングは行ないません。

第3フェーズは16項目とします。

- 第1フェーズ ベーシックホースマンシップ BH 20ポイント
- 第2フェーズ 歩様コントロール CG 60ポイント
- 第3フェーズ ベーシクトレイルテクニク PTV 160ポイント

③ トレーニングクラス

第1～第4すべてのフェーズを行います。

- 第1フェーズ ベーシックホースマンシップ BH 20ポイント
- 第2フェーズ 歩様コントロール CG 60ポイント
- 第3フェーズ ベーシクトレイルテクニク PTV 160ポイント
- 第4フェーズ オリエンテーリング POR 240ポイント

G2 人馬の年齢

G2:1 ライダーの年齢は原則ノービスでは8歳以上、トレーニングでは12歳以上とする。

ミニ TREC クラス (RRC-TREC) は特に年齢制限は設けない。

G2:2 馬の年齢は4歳以上とし、種類は問わない。

(RRC-TREC は7歳以上、サラブレッド限定、最終レースより5年を経過していること)

G3 競技

G3:1 競技はすべての種目を同一人馬のコンビネーションで行う。

G3:2 スタート順とスタートタイムは主催者が決定する。

G4 失権

G4:1 馬の体調、あるいはウェルフェアに問題があると判断された場合

G4:2 CGあるいはPTVにおいて、外部からの援助を受けた場合

但し危険であると判断された場合はその限りではない。PORについても然りである。

G4:3 PORフェーズにおいて、審判団の許可なくGPSを使用した場合。

G4:4 PORフェーズにおいて審判団の許可なく携帯電話などを用いてルートについての相談を行った場合（但し危険であると判断された場合はその限りではない。）

G5 上訴

G5:1 上訴は審判長もしくは技術代表に対し文書にて行なうこと。

G5:2 競技者はスコアについて、審判と直接議論することはできない。

G5:3 審判団・技術代表及び主催者のコントロールが及ばない事柄については、抗議の対象とはならない。

G5:4 馬のウェルフェアに関しての裁定(失権など)に関しては上訴することが出来ない。

G6 競技者の服装

G6:1 服装は野外での騎乗に適した安全なものであれば自由であるが、馬が驚く可能性があるもの(派手な色や裾が長いレインコートなど)を着用することは出来ない。

G6:2 安全基準を満たした乗馬用ヘルメットをかぶらなければならない。

ボディープロテクターの着用も必須とする、エアバック式プロテクターを着用する場合は通常のものと同用することを強く推奨する。

G6:3 審判団は競技者の服装が不適切と判断した場合、競技続行を止める権利を有する。

G7 馬装と用具

G7:1 原則として馬装と用具に規制はないが、安全な状態で競技馬に適合していなければならない。

G7:2 PTVフェーズにおいて、ランニングマルタンガールを使用する場合、引き馬の審査では手綱をマルタンガールから外すか、マルタンガール自体を外さなくてはならない。

G7:3 鞭の使用は可とするが、濫用は失権の対象とする。

G7:4 拍車の使用は可とするが、競技者が適切に使用できなければならず、馬体に傷が認められる場合は失権となる。

G7:5 馬装と用具は競技中いかなるときでも検査の対象となりえる

第1 フェーズ ベーシックホースマンシップBH 20 ポイント

B1 目的

騎乗する前の事前検査を想定し、馬とライダーの準備が適切に出来ているか、またグラウンドマナーなどが的確に調教され、従順に扱えているかを審査する。

B2 審査方法

ライダーは引き馬で常歩と速歩をさせ、審判の前を往復(距離片道 25m 程度)したあと、下紀の項目について審査を受ける。馬具のフィッティング状況の確認と、ライダー本人の馬装する能力を確認するため、審判は必要に応じ、いったん馬具を取り外し、再度装着することをライダーに要求する場合がある。

B3 採点方法

各項目に問題がある場合、それぞれ2ポイントの減点となる。スコアシートに減点理由が書き込まれる。

グルーミング

ブラッシング:泥、汗マーク、異物の付着。怪我の有無。蹄と蹄鉄。

馬具、馬装

清潔さ、フィッティング、サイズの調節、修理の程度、トレイル用品の装着状況、馬装のスムーズさ。

プレゼンテーション(グラウンドマナー・ワークの習熟度)

馬のコントロール、安全性、回転、リードロープ・手綱の扱い、他者への配慮。

第2フェーズ 歩様コントロール CG

60ポイント(駈歩、常歩それぞれ30ポイント)

C1 目的

騎乗馬の調教度合い、コントロール性、従順度を審査し、野外騎乗の際の安全性を確かめる。

C1:1 地面にマークされた走路の中で、馬になるべく遅い駈歩となるべく速い常歩をさせる。

駈歩は遅ければ遅いほどポイントは高くなる。

常歩は速ければ速いほどポイントが高くなる。

C2 ステージ

C2:1 走路の長さは75m、幅は2.5mとする。走路は直線でなくてもかまわない。

C2:2 **ミニ TREC クラス(RRC-TREC)は全長を60mとし、その比率に応じた得点表を用いる。**

C3 採点

C3:1 以下の場合にはそれぞれ3ポイントの減点となる。

コース上で停止、または後退した場合。

走路から馬の肢が外に出た場合。

C3:2 指定された歩様以外の歩様になった場合は10ポイントの減点となる。

C3:3 駈歩区間では事前に宣言して速歩で走行することも認められる。

その場合の得点は5点とする。

C4 落馬

C4:1 落馬の場合は0点となるが、落馬したステージ(駈歩ステージか常歩ステージ)のみに適用される。(但し落馬後は競技役員のチェックを受けないと再騎乗は認められない。)

C4:2 このフェーズでの落馬で自動的に失権となることはない。

"第3 フェーズ ベーシックトレイルテクニック (野外基礎課題)

160 ポイント ※ミニ TREC クラス(RRC-TREC)は係数2

P1 定義

P1:1 このフェーズは騎乗の際に必要とされるさまざまな技量をみるものである。自然の中で実際に遭遇するであろう課題を乗り越えていく際の、馬の従順さ、勇敢さ、機敏さ、バランスと安定感、またライダーの騎乗技術・扶助の正確さとポイントにより評価する。

P2 課題

※RRC-TREC2025 での課題は8項目とし年間を通じて共通とする(内容は別紙参照)

P2:1 課題はミニトレックでは8、ノービス・トレーニングは16とし定められた順番に走行しなければならない。天候や安全を考慮して主催者は課題の数を増減することができる。

P2:2 それぞれの課題には、右側に赤旗、左側に白旗を設置するとともに、番号を障害物の右側に掲示する。

P2:3 競技者には事前にルートが説明される。

P3 歩様の選択 歩法は自由である。

P4 コースウォーク

競技者は下見のために事前にコースを歩くことができる。コースウォークのための時間は主催者が決定して発表する。また競技中の下見も許可される。

P5 採点基準 (Marking)

P5:1 最高点は160ポイント

実際の採点は各障害ごとに10点満点で採点し、障害の数に応じた係数を乗じて160点満点になるように、ポイントを計算する。(例:8障害の場合:7点×2=14点)ポイントはEffectiveness(技量)とStyle(スタイル)の観点から付与される。

P5:2 拒止

課題を3回拒止すると、0ポイントとなるが、次の障害に進むことはでき失権とならない。

P5:3 パス

課題をパスして次の課題に進むことが出来る。その場合は審判員に告げなければならない。その課題は0点となる。

p5:4 コースを間違えても失権とはならず、審判員の指示に従いやり直すことが出来る。

P6 タイムスコアリング

TREC JAPAN に関してはタイムスコアリングを適用しない。

P7 スタートとフィニッシュ

p7:1 スタートおよびフィニッシュラインは右に赤旗、左に白旗をたてる。

P8 採点基準

P8:1 課題のそれぞれを 0 から 10 までの段階で採点する。Effectiveness(技量) と Style (スタイル) のそれぞれの観点から見る。馬への暴力、危険な行動の場合のみマイナスポイントがつくことがある。

P9 Effectiveness (技量)

P9:1 障害をうまく通過できたか否かを下記の点から採点する。

ーできたか／できなかったか

ー通過したか／通過しなかったか

ー触ったか／触らなかったか

ー動いたか／動かなかったか

ー指示に従ったか／従わなかったか

採点例：

失敗なし／触らなかった／拒否や抵抗なし／歩様が変わらない／外に踏み出さない 等 =7

1 回失敗した／触った／拒否や抵抗した／歩様が変わった／外に踏み出した 等 =4

2 回失敗した／触った／拒否や抵抗した／歩様が変わった／外に踏み出した 等 =1

3 回失敗した／触った／拒否や抵抗した／歩様が変わった／外に踏み出した 等 =0

この得点はスコアシートの E の欄に記入する。

P10 Style1 (スタイル)

Style 得点を Effectiveness 得点に加える。以下の基準に従って採点する。

大変良い +3、良い +2、少し良い +1、平均的 0、少し悪い -1、悪い -2

"あるいは歩様によって採点する場合。

駈歩 +3、常歩 -2

この得点はスコアシートの S の欄に記入する。

P11 Penalties (ペナルティー)

暴力的あるいは危険な行動の場合はマイナス点がつく -3

いくつかの障害については鎧のあげ忘れは-1 となる。ウエスタン鞍には適用しない。

この得点はスコアシートの P の欄に記入する。

P12 落馬・転倒

落馬・転倒（人馬の）は Effectiveness が 0 点となる。PTV コース上においての 2 回の落馬・転倒は PTV フェーズからの失権となり安全上の理由から競技を続けることはできない。

P13 採点方法

Effectiveness に Style を加え、Penalties を引く。(E + S - P)

すべての課題において、Effectiveness が 0 の場合、その課題の得点は 0 となる。暴力や危険な行動によるペナルティーがつく場合はマイナスポイントがつく。

"第4フェーズ オリエンテーリング POR
240 ポイント

RRC-TREC2025 では行わないため割愛する。

※参考

課題例一覧

- 1、静止 immobility
- 2、騎乗 mounting
- 3、スラローム slalom(ridden)
- 4、通路 corridor(ridden)
- 5、引き馬通路 in hand corridor
- 6、後退 reining back(ridden)
- 7、S字 S-bend test(ridden)
- 8、引き馬S字 in hand S-bent test
- 9、坂登り riding up an incline
- 10、坂下り riding down an incline
- 11、引き馬坂登り leading up an incline
- 12、引き馬坂下り leading down an incline
- 13、倒木ジャンプ tree trunk(ridden)
- 14、生垣ジャンプ hedge(ridden)
- 15、ステップアップ step up(ridden)
- 16、ステップダウン drop(ridden)
- 17、引き馬ステップアップ in-hand step up
- 18、引き馬ステップダウン in-hand step down
- 19、ゲート gate(ridden)
- 20、水渡り water crossing(riddden)
- 21、橋渡り footbridge(ridden)
- 22、引き馬橋渡り in-hand footbridge

※ノービス・トレーニング競技ではこの中から 16 項目を主催者が選定して行われる。

(ミニ TREC は 8 項目)